

情 報 公 開 文 書

研究の名称	多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究
整理番号	R2020186
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	岡澤成祐
研究の概要	<p>【研究対象者】 研究参加施設で2018年5月以後に新規に間質性肺炎を指摘され、2020年5月以後に本研究への参加と経過観察の実施について文書による同意が得られた方。</p> <p>【研究の目的・意義】 間質性肺炎は、肺の間質を炎症や線維化病変の場とする疾患の総称で、国の難病に指定されています。中でも、特発性肺線維症(IPF)は、肺の線維化が進行性に悪化し、生存期間中央値が2~3年と予後不良の疾患です。間質性肺炎の診断には専門的施設・専門医が集まって診断する事が重要とされますが、実際に本邦で実現可能な施設は限られており、未診断の患者さんも非常に多く、本邦における間質性肺炎の実態はわかっていません。また、近年広義の人工知能による医療への応用が期待されており、従来の検査を組み合わせる事で、簡便かつ正確に間質性肺炎の診断や予後予測ができるツールを作成できる可能性があります。</p> <p>【研究の方法】 2018年5月以後に研究参加施設で新規に間質性肺炎を指摘されている患者さんの診療情報を収集して間質性肺炎の実態を把握するとともに、広義の人工知能を用いて解析を行います。統計解析は京都府立医科大学で行われ、人工知能の開発検証は名古屋大学医学系研究科呼吸器内科学、理化学研究所、長崎大学で行われます。 この研究は日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社支援のもと、名古屋大学の運営により実施される研究です。</p> <p>【研究期間】 2021年2月5日から2035年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究により得られた研究の成果は、個人が特定されないように統計処理を行ったうえで、学会発表および学術論文などによって公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>診療情報(カルテ)から、年齢、性別、生年月日、喫煙歴、原疾患、血液検査、画像検査、組織検査等の情報を収集します。また、組織検査を受けられている場合は病理スライドを収集します。</p> <p>データセンターへのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的に行い、データは個人が特定できない形となります。対応表は各研究参加施設が保管・管理します。データセンターから各解析施設へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、個人が特定できない形で電子的に提供され、専門的解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学・准教授・橋本直純
研究資料の開示	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

	<p>圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
<p>試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）</p>	<p>名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学・准教授・橋本直純</p>
<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-2281（内 7287） FAX 076-434-5025 E-mail okazawa-sin@umin.net 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第一内科 助教 岡澤成祐</p>